

徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況(平成26年度)

1 生活機能の強化に係る政策分野

■ 医療

① 地域医療の連携（1市2町）

事業名	徳島市民病院との連携強化事業
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町
事業内容	徳島市民病院を核とした圏域内の自治体病院との医療連携の構築を図るとともに、地域医療向上のため、地域の医療従事者に対する教育と研修に努める。

【平成26年度の取組実績（見込）】

○紹介患者に対する医療の提供

- ・徳島市民病院において連携施設から紹介を受けた患者を治療
【患者数】4人（勝浦病院4人）※平成26年12月末時点

○医療従事者への研修の実施

- ・連携3施設（徳島市民病院、勝浦病院及び上勝診療所）による合同研修会を10月23日に勝浦病院において実施
…徳島市民病院の認定看護師を講師として派遣し、勝浦病院及び上勝診療所の看護師等に「 Dengue熱、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)について」の講演と質疑応答を行った。
【参加人数】57人（徳島市3人、勝浦病院51人、上勝町3人）



△合同研修会の様子

■ 福祉

② 子育て環境の充実（2市8町1村）

事業名	病児・病後児保育事業
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町
事業内容	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、連携市町村が実施する病児保育事業について、病児・病後児（おおむね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）の広域利用を可能にする。

【平成26年度の実績（見込）】

○病児・病後児保育事業の広域利用を神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町にも拡大し、事業実施施設についても2施設を追加

- ・藤岡クリニック（徳島市）
- ・田山チャイルドクリニック（徳島市）
- ・愛育小児科（徳島市）
- ・えもとこどもクリニック（徳島市）
- ・ひなたクリニック（徳島市）
- ・徳島赤十字乳児院（小松島市）
- ・伊勢内科小児科（石井町）
- ・富本小児科内科（藍住町）【7月から】
- ・北島こどもクリニック（北島町）【12月から】

○広報用リーフレットを25,000部作成し、市立・私立保育所及び事業実施施設等で配布

○広報紙や各市町村ホームページ等の広報媒体を活用し、引き続き広域化を周知

○病児・病後児保育事業の利用状況（平成26年9月末現在） [単位：人]

	徳島市内 施設	小松島市 内施設	石井町内 施設	北島町内 施設 (12月～)	藍住町内 施設 (7月～)	合計
徳島市民	1,226	40	110		5	1,381
小松島市民	12	43				55
勝浦町民		2				2
佐那河内村民						
石井町民	61		299			360
神山町民	6		3			9
松茂町民	26				2	28
北島町民	82		3		2	87
藍住町民	66	1	17		94	178
板野町民	3		9		11	23
上板町民	9		2		3	14
合計	1,491	86	443		117	2,137

■ 教育

③ 公共施設の広域利用（1市2町）

事業名	圏域内図書館相互利用事業
連携市町村	徳島市・石井町・北島町
事業内容	連携市町村の個人利用に限定した「利用者カード」を発行し、圏域内の連携市町村立公立図書館の相互利用を実施する。

【平成26年度の実績（見込）】

○徳島市立図書館及び北島町立図書館の相互利用を実施

○図書館相互利用状況（4月～12月）

（平成26年12月末現在）

	新規登録者 (人)	居住地別		
		徳島市民	北島町民	石井町民
徳島市立図書館	111	—	56	55
北島町立図書館	151	150	—	1
合計	262	150	56	56

■ 産業振興

④ 圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致（全市町村）

事業名	観光開発・観光誘致事業
連携市町村	全市町村
事業内容	圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、さまざまな観光資源を発掘して魅力向上を図ることで圏域での観光エリアを形成し、宿泊、体験観光、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光を実施するとともに、さまざまな観光資源、イベント等の情報発信・PRを一体的に行い、関連産業の拡大や観光消費の活性化を図り、圏域内外での交流人口を拡大する。

【平成26年度の実績（見込）】

○徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会負担金

- ・徳島東部地域を巡る日帰りバスツアーを阿波おどり期間（8月12日～15日）に実施
（参加人数 45人）

（次のページにつづく）

【平成26年度の取組実績（見込）】（つづき）

- ・各市町村の観光情報を集約した圏域内の観光パンフレットを作成し各種イベントや圏域内外の施設等で配付（ルートマップ増刷 10,000部、季刊誌4種類 各15,000部）



- ・連携市町村が共同して、「第35回八王子いちよう祭り」（東京都八王子市）において県外観光キャンペーンを実施。（11月14日～16日）
- ・圏域内の観光スポットを巡るスタンプラリーを開催（11月15日～平成27年2月15日、スタンプ設置箇所74か所）
- ・高速バス（徳島～大阪線）の車体にラッピング広告を行い、関西圏への徳島東部地域の魅力を広く発信（4月1日から1台を運行）
- ・ホームページ等の電子媒体を活用し、徳島東部地域の「観光」「食」「文化・歴史」等を紹介するなど積極的な情報発信を実施

▽ホームページ



△キャラクターグッズの制作

- ・徳島東部地域を積極的にPRするため、キャラクターグッズ等を製作（うちわ 15,000本ほか）
- ・圏域内の周遊性や滞留性を高めるため、圏域内を巡る「徳島再発見ツアー！」（佐那河内村、神山町、石井町）を実施（11月24日、参加人数 39人）し、圏域内の魅力再発見と交流人口の拡大を図った。

（次のページにつづく）

【平成26年度の取組実績（見込）】（つづき）

○広域観光案内ステーション事業

- ・徳島駅前拠点施設において、連携市町村の観光案内、宿泊案内、物産販売等を行うとともに積極的な情報発信を行った。

○電動スクーター等観光レンタル事業

- ・徳島市を訪れる観光客への手軽な移動手段として活用できる電気バイク7台、電動アシスト付自転車59台を徳島駅前等で貸し出し、市内観光はもちろんのこと、連携市町村への移動手段として活用
- ・また、圏域内に貸出、返却、充電が可能な施設を拡充することにより電動アシスト付自転車等の移動エリアを拡大
- ・電動アシスト付自転車を活用した圏域内へのレンタサイクルツアーを開催し、レンタサイクルの活用推進と圏域内の観光PRを実施



○はなはるフェスタ開催費補助

- ・徳島市の藍場浜公園・新町川公園一帯を会場に、4月18日～20日の3日間、「阿波おどり」、「食」、「伝統文化」等をテーマに開催された「はなはるフェスタ2014」の事業費に対して補助（3日間で来場者20万人）

⑤ 地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進（全市町村）

事業名	特産品ブランド化・地産地消推進事業
連携市町村	全市町村
事業内容	圏域内の観光案内や物産販売等を目的とする拠点施設において、農産物加工品等の販売やPRを推進するとともに、「とくしまIPPIN店」認定店の圏域内拡大、「とくしま食材フェア」の共同実施、圏域内の関係団体との交流などについて、圏域全体で連携して取り組む。

【平成26年度の取組実績（見込）】

○農産物魅力発信事業

- ・広域観光案内ステーションにおいて圏域市町村の農産物加工品などを含む特産品の品揃えを充実させるとともに、広く認知度向上を図るためのPR用のチラシや、季節ごとの観光情報に特産物情報を盛り込んだ「とくしま旅づくりネット季刊誌」を作成・配布
- ・4月、9月、11月にイベントを開催し、小松島市、上板町、北島町、佐那河内村の各関係団体等が特産品をPR・販売

○地産地消推進事業（連携市町村：全市町村）

- ・地元産食材を使ったメニューを提供する「とくしまIPPIN店」認定の対象区域を東部圏域12市町村に拡大して募集するとともに、内容をより充実させ、使用している食材等の情報収集及び広報媒体によるPR活動を積極的に実施
- ・「とくしま食材フェア2014」を圏域市町村で共同開催
（11月22日～23日 藍場浜公園）
[来場者] 約 28,000人



⑥ 地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成（2市5町）

事業名	コミュニティビジネス起業支援事業
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町
事業内容	地域産業の活性化を図るため、コミュニティビジネスの普及啓発、コミュニティビジネスに対する起業支援や経営支援等の検討、圏域内連携による起業情報提供（ホームページ等）を行う。
<p>【平成26年度の実績（見込）】</p> <p>○コミュニティビジネスの立ち上げや、起業、独立を目指している人を対象にしたコミュニティビジネス創業セミナーを開催 また、セミナー終了後にも起業に関する相談等起業支援事業者間の連携体制を周知</p> <p>【セミナーの内容】</p> <p>第1回 9月18日：「コミュニティビジネスとは ～地域の課題から考える 事業計画を書いてみよう～」</p> <p>第2回 9月25日：ソーシャルメディアを活用しての集客方法や ホームページによる連携の仕方を学ぶ</p> <p>第3回 10月2日：資金調達・設立の手続等の必要事項を学ぶ、起業体験談</p> <p>第4回 10月9日：まとめのセミナー～事業計画を発表～</p> <p>【参加者数】 延べ63人（徳島市、小松島市、藍住町、石井町）</p>	

⑦ 圏域内への企業誘致の推進（2市4町）

事業名	企業誘致活動推進事業
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・板野町
事業内容	効果的な企業誘致活動ができるよう、徳島県や地元企業とのネットワークを新たに構築し、活用するとともに、新たに立地を求める企業が情報収集し易い環境整備を図るため、企業目線で連携市町村のホームページを整備し、利便性・満足度の向上を図る。
<p>【平成26年度の実績（見込）】</p> <p>○各自治体の企業誘致HPの相互リンク</p> <p>○連携市町情報交換 各市町の取り組み状況や優遇制度について情報交換を行い、企業誘致のノウハウを蓄積し、今後の誘致活動に繋げた。</p> <p>○「地方創生」による国の取り組みに基づいた、地方独自の施策等における実施研究及び検証 ・企業誘致における地方自治体独自の効果的な施策について相互で検討した。</p>	

⑧ 中心市街地の都市機能の充実（全市町村）

事業名	中心市街地都市機能整備事業
連携市町村	全市町村
事業内容	中心市街地のにぎわいや回遊性を高めるため、徳島市の成長戦略の柱である「地域産業の拡大」「都市中心部の魅力の向上」「定住人口の維持拡大」に関連するさまざまな事業を実施し、観光・産業の振興を主とした都市機能の強化を図ることで、人々がいつも訪れ、居住する人々が増え、新たな雇用を生み出していく中心市街地づくりを推進する。

【平成26年度の実績（見込）】

○「徳島ひょうたん島博覧会2014」の開催
（9月27日・28日）

「川いいね！とくしま。」をブランドメッセージとして、徳島市中心部の「ひょうたん島」を舞台に、ひょうたん島で活動している事業者・NPO等で組織された実行委員会と徳島市の共催により開催

2回目となる今年度は、「水上パレード」を中心に、「SUPマラソン」や「ゴザ走り選手権」、「ダンボールボートレース」などの水上プログラムを多数実施したほか、物作りのワークショップや今昔写真の展示のほか、また、新町川水際公園を会場に、「ナイトマルシェ」やLED作品の展示、「夜釣り大会」なども開催し、2日間で3万人余りが来場



△ポスター



△SUPマラソン



△水上パレード

（次のページにつづく）



△カヌー・カヤック体験



△ゴザ走り選手権

○ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業

- ・今年度に策定した「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」を実現するため、川を中心に活動する関係団体等により「ひょうたん島川の駅連絡会」を8月に設立（これまでに2回開催し、イベント情報発信の仕組みづくりや川の駅舎や棧橋の実施設計等についての意見交換を実施）
- ・「助任橋たもと棧橋」及び「新町橋河畔棧橋」の整備等構想をもとに安全で機能的な棧橋となるよう河川管理者等と協議しながら実施設計に取り組んでいる。
また、再開発ビル内に設置予定の川の駅舎の実施設計に取り組んでいる。



＜整備イメージ図

○徳島駅前広場整備事業

- ・JR 徳島駅前の歩道橋エスカレーターの改修に対して補助を行い、徳島市立図書館等の利用者の利便性を向上
- ・県都の玄関口として中心市街地の良好な都市機能の向上を図った。

○眉山山頂観光展望施設等整備事業

平成25年度に策定した「眉山魅力アップ計画」に基づき、JR徳島駅から眉山山頂までの区間の魅力向上とにぎわい創出を図るため、眉山山頂観光展望施設整備のための設計を実施

⑨ 鳥獣害対策の推進（2市6町1村）

事業名	鳥獣害対策推進事業
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・板野町・上板町
事業内容	圏域内の市町村、地区猟友会、農協など関係団体での情報共有を図るとともに、圏域内市町村が連携して広域的に鳥獣害対策を推進する。

【平成26年度の実績（見込）】
 ○県・徳島市・佐那河内村・神山町の各担当者と、市町村境を移動する二ホンザル対策を中心に会合を開催
 徳島農業支援センター（9月26日）
 佐那河内村役場（11月5日）
 ・被害情報の共有による状況認識、他市町村との予算・対策の比較、国補事業実施に向けた留意点などについて情報交換

■ その他

⑩ 環境保全活動の推進（1市8町）

事業名	地球温暖化対策推進事業
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町
事業内容	圏域内市町村が連携して地球温暖化対策に取り組むことにより、圏域内の住民、事業者、行政が行う温暖化防止活動の取り組み拡大を図る。

【平成26年度の実績（見込）】
 ○ノーマイカーデー、ライトダウンの実施
 ・各市町でノーマイカーデーを定め、職員に対して啓発を実施
 ・ノーマイカーデーでの定時退庁を呼びかけ、一斉消灯を行うとともに、開庁時間内においても不要な照明等の消灯の取り組みを実施

 ○環境学習の実施
 ・平成24年度に連携して作成した「こどもエコチャレンジノート」を活用し、各市町の小学校（計13校）や各種啓発行事など環境学習に活用

 ○エコアクション21の認証取得支援
 ・エコアクション21の普及・認証取得支援の内容についての説明会を開催
 ・関係団体・市町村と連携を図りながら、周知・啓発・情報提供等を実施

 ○住宅用太陽光発電の補助事業
 ・住宅用太陽光発電の設置者に対し、設置費用の補助を実施（5万円×200件）

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ 道路等の交通インフラの整備

⑪ 圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携（全市町村）

事業名	圏域道路網整備促進等事業
連携市町村	全市町村
事業内容	圏域市町村が連携して、圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の国・県への共同要望や市町村界に係る市町村道路改良の情報交換を実施する。

【平成26年度の取組（見込）】

- 市町村界に係る道路整備推進のための情報交換（全市町村）
 - ・担当者部会での情報交換

■ 地域内外の住民との交流・移住促進

⑫ 文化・スポーツ交流の推進（2市5町）

業名	スポーツ大会共同開催事業
連携市町村	徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町
事業内容	圏域内でのニュースポーツの普及・活動支援のため、圏域内市町村が連携して、新たに「徳島東部地域ニュースポーツフェスティバル」を共同開催する。

【平成26年度の取組実績（見込）】

- 「第2回徳島東部地域ニュースポーツフェスティバル」を連携市町と共同開催

- [参加者]
- ①6月1日（日）
 - ソフトバレー 125人
 - （会場：小松島市立体育館）
 - ②6月8日（日）
 - カローリング 78人
 - （会場：板野町健康の館）



（次のページにつづく）



△競技の様子

⑬ 就農支援体制の連携強化（2市7町1村）

事業名	就農支援体制連携強化事業
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・藍住町・板野町・上板町
事業内容	圏域内外の就農希望者や意欲ある農業者に対し、農地活用情報・耕作放棄地をデータ化し、情報発信するとともに、耕作放棄地再生利用対策の取組状況の周知や新規就農希望者に対して農業体験事業を共同実施する。
<p>【平成26年度の取組実績（見込）】</p> <p>○市民ファーマー育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域10市町村において受講希望者を募り、市民ファーマーの育成を実施 [受講者]10人 	

⑭ 移住・長期滞在の推進（２市３町１村）

事業名	移住・長期滞在推進事業
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・神山町
事業内容	中心市が持つ都市機能の魅力と、周辺市町村が持つ環境や地域コミュニティなどの農山地の魅力を活用した情報発信方法の研究を行い、徳島県、とくしまふるさと回帰推進協議会及び観光関係団体等と連携して、移住及び長期滞在地としての魅力を都市圏に向け情報発信する。
<p>【平成２６年度の実績（見込）】</p> <p>○移住希望者等に対して広域的なPRを行うことができるよう連携市町村の地域資源に関する情報交換を行うとともに、連携市町村の都市機能及び農山地の魅力向上のために地域性を生かした魅力の再発見、再確認を実施</p> <p>○連携市町村による移住・長期滞在推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「神山町移住交流センター」を運営し、移住支援やワンストップサービスを提供したほか、「空き家情報データベース」を構築し、なお一層の情報提供を実施（移住者１９人 ※平成２６年１２月末現在） 	

■ その他

⑮ 情報システムの共同研究（１市６町）

事業名	情報システム共同研究事業
連携市町村	徳島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町
事業内容	圏域内市町村が連携して情報システムに関する課題や問題点などについて情報交換し、対応策について協議するとともに、今後の自治体クラウド導入に対してのメリット・デメリット、各業務におけるその有効性等についての情報交換や研究を行う。
<p>【平成２６年度の実績（見込）】</p> <p>○情報システム共同研究事業の一環として、「行政運営に関する研究会」（７月３１日 徳島市役所）において、徳島市の社会保障・税番号制度に係る取組状況を紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・税番号制度の円滑な導入を行うための取組状況について、情報共有を行った。 	

3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

■ 宣言中心市等における人材の育成

⑩ 圏域内市町村職員の人材育成（全市町村）

事業名	圏域内市町村職員人材育成事業
連携市町村	全市町村
事業内容	圏域自治体職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村が連携して合同研修会を開催する。
<p>【平成26年度の実績（見込）】</p> <p>○徳島市において次の合同研修会を実施した。</p> <p>①「意識改革講座」（7月9日、徳島市役所 13階大会議室） 講師：首都大学東京 大学院 教授 大杉覚 氏 内容：「分権時代の人材育成と現場実践」 [参加者] 143人（うち周辺市町村10人）</p> <p>②「防災対策講演会」（11月6日、徳島市役所 13階大会議室） 講師：危機管理教育研究所 代表 国崎信江 氏 内容：「新しい知見で考える巨大災害への備え」 [参加者] 78人（うち周辺市町村7人）</p>	

■ 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

⑪ 外部からの人材の確保（全市町村）

事業名	外部人材共同招へい事業
連携市町村	全市町村
事業内容	専門的な知識や経験、実績、新しい発想などに優れた外部の人材を共同招へいして活用することにより、地域資源の発掘、新たな産業振興や人材育成など、各連携分野で専門的見地から助言や支援を求め、圏域の活性化を図る。
<p>【平成26年度の実績（見込）】</p> <p>○徳島市において、シティープロモーション活動へのアドバイザーとして外部人材活用を実施</p> <p>○松茂町において、外部人材による職員のメンタルヘルス研修事業を実施 （平成27年1月27日、松茂町役場）</p> <p>○板野町において、外部人材を活用した地域ブランド商品開発事業、危機管理研修事業を実施</p>	

■ その他

⑩ 圏域内市町村の行政運営機能の強化（全市町村）

事業名	行政運営に関する研究会開催事業
連携市町村	全市町村
事業内容	連携市町村で「行政運営に関する研究会」を開催し、自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究することにより、自治体運営機能の強化及び圏域自治体間の連携強化を図る。
<p>【平成26年度の実績（見込）】</p> <p>○人材育成及び地方自治体をマネジメントしていく上で、共通課題として重要度の高い下記の3テーマについて、関係市町村及び担当課と連携して研究会を開催した。</p> <p>①「社会保障・税番号制度について」（7月31日、徳島市役所 13階 第二研修室） [参加人数] 19人（うち周辺市町村 16人）</p> <p>②「公共施設等の老朽化への対応に関する研修会」 （平成27年1月29日、徳島市役所 13階 第一研修室） 講師：秦野市政策部公共施設再配置推進課長 志村 高史 氏 内容：「公共施設更新問題への挑戦」</p> <p>③「窓口等対応時及び情報公開請求時における個人情報の取扱いについて」 （平成27年1月29日、徳島市役所 13階 第二研修室）</p>	

⑱ 地域づくり活動の育成・支援（全市町村）

事業名	地域づくり活動団体等育成・支援事業
連携市町村	全市町村
事業内容	徳島市市民活力開発センター等において、地域づくり活動に関するセミナー、講座等を開催し、地域住民をけん引できる人材を養成する。また、圏域内外に情報発信し、他のNPO等の団体や個人とのネットワークの構築を図るとともに、行政・企業との協働を推進する。

【平成26年度の取組実績（見込）】

○各市町村へのヒアリング及び支援ニーズに合った事業の企画

佐那河内村で、徳島市のNPO 法人及びボランティアグループとの協働事業をサポート

- ・ 県内の児童青少年が佐那河内村の地域資源を体感する機会を創出するため、地域環境と音楽文化を学ぶサマーキャンプを開催（8月1日～3日）

[参加団体等] 4団体 参加者合計46人



○センター機能の広域利用（会議室・機材貸し出し、情報提供、広報支援など）

センター広報誌及び利用パンフレットを圏域市町村に送付し、カウンターへの設置を依頼

○各市町村の地域住民及び市民活動団体のニーズに沿った支援の展開

- ・ 佐那河内村において、徳島市の大学生が塾講師を務める教育事業を開催

佐那河内村の住環境向上のために地元住民が求める「若者世代との人材交流」の要望を受け、地元住民と徳島市内の大学生とのマッチングし、村内の小中学生を対象に大学生が講師を務める夏季・冬季講習を開催（夏季・冬季の2回実施）

[参加者等] 夏季：大学生講師 7人 参加児童21人

冬季：大学生講師 7人 参加児童11人



○ 圏域住民への普及啓発等（全市町村）

事業名	定住自立圏構想 PR 事業
連携市町村	全市町村
事業内容	徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの推進にあたり、圏域市町村の住民等に対して、連携事業の取組状況や成果について計画的な広報活動を行う。 (形成協定に規定していないが、包括財政措置の対象経費として認められる取組みである。)

【平成26年度の取組実績（見込）】

○定住自立圏構想推進事業

- ・市町村広報紙やホームページを通じ、適宜、取組状況などを周知
- ・徳島東部地域定住自立圏プレスリリースを毎月1回発行し、報道機関等に配布
- ・9月に徳島東部地域定住自立圏PR情報誌『結ぶ』第5号を発行
(10,000部を圏域市町村で配布)



△『結ぶ』第5号表紙



△徳島東部地域定住自立圏ホームページ
(徳島市ホームページ内)

- ・平成27年2月下旬に徳島東部地域定住自立圏PR情報誌『結ぶ』第6号を発行し10,000部を圏域市町村で配布（予定）